

これまでに直腸切除術、S状結腸切除術または膣式子宮全摘出術の治療を受けた患者さんへ

【過去の治療データの調査研究への使用のお願い】

東近江総合医療センター麻酔科では「直腸切除術およびS状結腸切除術または膣式子宮全摘出術に対する硬膜外麻酔および脊髄くも膜下モルヒネの鎮痛効果」という臨床研究を行っております。この研究は直腸切除術やS状結腸切除術、膣式子宮全摘出術など骨盤底に侵襲が加わる手術に対する鎮痛対策として脊髄くも膜下モルヒネの効果と副作用を確認するためのもので、今後のよりよい術後鎮痛法開発に活かすことを主な目的としています。そのため、過去に直腸切除術またはS状結腸切除術、膣式子宮全摘出術の治療をお受けになった患者さんのカルテなどの治療データを使用させていただきます。

以下の内容を確認してください。

○この調査研究は東近江総合医療センター倫理委員会で審査され、院長の承認を受けて行われます。

研究期間

令和5年6月1日 ～ 令和6年3月31日まで

対象調査期間

平成24年2月1日 ～ 令和5年1月31日まで

- 今回の調査研究の対象はこれまでに直腸切除術、S状結腸切除術、膣式子宮全摘出術の治療を受けた患者さんのカルテ、レントゲン写真、術後診察記録です。
- 過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。
- 使用するデータは、個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。
- 調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。
- 調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は東近江総合医療センターに帰属し、あなたには帰属しません。
- この調査研究は、東近江総合医療センターの研究費で行っており、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

もし、今回のデータ使用について同意をいただけない場合には、いつでも構いませんので、お手数ですが下記の問い合わせ先まで連絡ください。

また、同意の有無が今後の治療などに影響することはありません。

【問い合わせ先】

国立病院機構 東近江総合医療センター

麻酔科 職名：部長 研究代表者：藤野 能久

TEL：0748-22-3030 (代)

FAX：0748-23-3383 (代)